

第 18 期つやま産業塾「経営能力開発講座」第 8 回実施報告

1. 日時 平成 26 年 5 月 9 日（金）
2. 場所 中四国セキスイハイム工業株式会社
三菱自動車工業株式会社 水島製作所
3. 講座内容

つやま産業塾経営能力開発講座第 8 回では、「経営の現場を見る その 2」と題して企業見学を実施しました。

（１）中四国セキスイハイム工業株式会社

中四国セキスイハイム工業株式会社は、積水化学グループが供給するユニット住宅「セキスイハイム」の設計・製造を行われています。

岡山市東区に、鉄骨系ユニット住宅「セキスイハイム」を製造する本社工場と木質系ユニット住宅である「ツーユーホーム」を生産する九幡工場があり、今回は本社工場を訪問させていただきました。

セキスイハイムは、工場でボックス型のユニットを生産し、それらを建築現場で組み合わせ建築する住宅です。その歴史は 1970 年に発表された「ハイム M1」というモデルから始まり、北海道以外の全国で統一規格を使用し、品質管理と効率化を徹底されています。

岡山本社工場では 1 棟あたり 12 ユニットで構成されるセキスイハイムのユニットを、半期 10,000 ユニット程度生産されています。

生産ラインの見学では、ボックス型ユニットのフレームから完成に至るまでの過程を説明して頂きながら拝見し、効率化の徹底や作業精度保持の工夫を目の当たりにしました。

工場見学後は、「進・住まいのなるほど見聞館」に移動し、ユニットの構造や部材についての詳細な説明を聞くと共に、断熱性や地震への耐性を実際に体験し、学びを深めることができました。

見学風景



（２）三菱自動車工業株式会社 水島製作所

三菱自動車工業株式会社 水島製作所では、ek ワゴンや ek スペースを始めとして三菱が販売する軽自動車を全て生産し、その他にも普通車や電気自動車を生産されています。プレスから最終組立てまでの車作りの全行程作業が行われ、エンジン組立て・鋳物加工等も含んだ世界でも例の少ない一貫生産工場です。

生産ラインでは、溶接作業のほぼ全てが高精度ロボットの手によるもので、その他の組立作業でも細かい作業についてはロボットが担当していました。殆どの作業をロボットが担う溶接作業についても検査は人の目で行われ、しっかりと品質管理されています。組立作業ラインでは、次の車が流れてくるまで 60 秒という条件の下、技術者が効率的に部品取付を行うための無人部品運搬機など様々な工夫が凝らされていました。

こうした機械による効率化だけでなく、製作所内に技術研修の場として設けられた「ものづくり道場」や、担当工程をローテーションして多能工を育成するなど、「人」と「機械」の両面から作業精度を高め、製品品質を高めていく精神を学ぶことのできた見学でした。

見学風景

